

市政クラブ管外行政視察研修視察報告書

この度、平成27年度市政クラブ会派での管外行政視察を終了したので、その内容を下記の通りに報告致します。

平成27年8月21日

名取市議会

議長 山口 實 様

市政クラブ 代表 相澤祐司 

記

- 1 期 日 平成27年7月15日（水）～7月17日（金）
- 2 参加人員 相澤祐司
相澤 雅
- 3 視察地及び調査事項

【滋賀県守山市】 7月15日 午後1時～午後3時

○中心市街地活性化基本計画について

（イ）事業計画策定の経緯について

（ロ）成果と今後の課題について

【滋賀県甲賀市】 7月16日 午前10時～午前11時30分

○学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来

（イ）事業計画策定の経緯について

（ロ）成果と今後の課題について

【京都府木津川市】 7月17日 午前10時～午前11時30分

○クリーンセンター建設プロジェクト

（イ）事業計画策定の経緯について

（ロ）成果と今後の課題



平成27年度 市政クラブ会派行政視察 行程表

7月15日(水)

仙台空港	—
	発 8:00

(飛行機)

伊丹空港	着 9:20
	発 10:00

(バス伊丹空港線)

新大阪	着 10:25
	発 10:35

(JR京都線新快速)

守山	着 11:24
	—

【昼食】

守山市視察 077-582-1151	13:00
	15:00

守山	着 —
	発 15:24

(JR琵琶湖線新快速)

彦根	着 15:47
	発 17:27

(近江鉄道本線)

水口	着 18:41
	—

7月16日(木)

水口駅	—
	発 8:49

(近江鉄道本線)

貴生川	着 8:57
	発 9:28

(JR草津線)

甲南	着 9:32
	発 —

甲賀市視察 0748-86-8019	10:00
	11:30

【昼食】

甲南	—
	発 13:25

(JR草津線)

柘植	着 13:40
	発 14:42

(JR関西本線)

加茂(京都)	着 15:35
	発 16:12

(JR大和路線区間快速)

奈良	着 16:27
	発 —

7月17日(金)

奈良	—
	発 9:09

(JR奈良線)

木津(京都)	着 9:17
	—

木津川市視察 0774-75-1240	9:30
	11:30

木津(京都)	着 —
	発 11:52

奈良	着 12:00
	発 16:54

(JR大和路線区間快速)

天王寺/あべの橋	着 17:29
	発 17:40

(バス)

伊丹空港	着 18:10
	発 19:40

(飛行機)

仙台空港	着 20:55
	—

【宿泊】 1日目(15日):ホテル古城 〒528-0017 滋賀県甲賀市水口町京町2-2

TEL:0748-62-1262

2日目(16日):ホテルサンルート奈良 〒453-0014 奈良県奈良市高畑町1110

TEL:0742-22-5151

視察場所・

滋賀県守山市役所

視察内容 ・ 中心市街地活性化基本計画について、

守山市の概要

本市は、滋賀県の南部、琵琶湖の東南部に位置し、南西は草津市、南東は栗東市、北東は野洲市に接した人口 80、497 人、世帯数 29,751 世帯の都市である。

市域は、野洲川によって形成された沖積平野に位置し、標高 83、7m~106、1m と、標高差は僅か 22,4m の平坦な地形となっていて、広さは、東西 6,3Km、南北 10,9Km、面積 55,73Km² であり、滋賀県の面積の 1,1% になっている。

守山の源氏ボタルは有名で、皇室にも献上された記録が残されており、大正 13 年には源氏螢発生之地として指定されるなど、ゲンジボタルが飛び交う自然豊かな所でした。

その後工場排水や生活排水など、河川の水質汚濁により、ホタルが絶滅し、指定の解除を受けざるを得ない時期がありました。

しかし、その後の下水道の整備や市民の環境改善などの取り組みにより、河川の水質が大幅に改善され、現在、街なかでゲンジボタルが飛び交う姿を見る事が出来る全国でも稀な環境に恵まれた都市です。

古くから中山道が通過し、交通の要衝して発展、守山町は、昭和 16 年物部村と、同 30 年には小津村、玉津村、河西村、速野村、さらに同 32 年に中洲村を編入、県下最大のまちになり、昭和 45 年 7 月 1 日に守山市が発足した。

主な企業

旭化成(株)、JNC ファイバース(株)、日本バイリーン(株)、富士車輛(株)、グンゼ(株)、ダイハツディーゼル(株)、東レファインケミカル(株)、日本コカコーラ(株)、などが有る。

主な交通

京都市中心部とは約 20Km、大阪中心部とは 60Km の地にあり、JR 守山駅から新快速を利用して京都まで約 25 分、大阪まで 55 分と利便性の高い位置にあり、湖南地域の中核都市としての役割と京都や大阪のベッドタウンとしての性格も有している。

視察の経過

守山駅に出迎えて頂き、市役所へ、議会事務局の次長、西木弘様の歓迎の挨拶があり、

次に相沢祐司議員より視察に関わる経緯と震災時の支援についての御礼をのべる、

守山市の概要、資料N0-1により守山市の概要の説明を受けた後、守山市都市活性化局、都市再生課・課長・水原正純氏、同・主事・北沼泉さんより、資料N0-2・N0-3・N0-4についてプロジェクターを使用しながら説明を受けました、5年間の中心市街地活性化計画が終わり、今年4月より新たな5年計画に入る事、前計画で成果が思うように出ていない、セルパ守山地下1Fの再生オープン等、課題も挙げていただきました、説明終了後、現地へ、中仙道の歴史文化まちづくり館・うの家、あまが池プラザ、セルパ守山地下など案内され丁寧に説明されました。

考 察

丁寧な説明と問題の開示等、中心市街地活性化に向けた気概と自信が感じられ、多くの難題を解決してきた実績に敬意を表したい、ゲンジホテルにしても再生を信じ一つの努力で、まちにホテルが戻って来たこと、数値目標を年次計画にし、進行管理し、なにがネックか把握し具現化の努力をし、結果として計画目標を達成しているなど、当市には見られない市街地再開発に取り組む熱い想いを感じました。

中仙道の沿道整備、旧宇野家、河川の整備、駅前のセルパなど、送って頂きながら案内され説明以上の成果を感じながら帰路につきました。

行政視察報告書・

甲賀市

平成27年7月16日

視察場所・

滋賀県甲賀市・甲南庁舎

視察内容 ・ 学びと育ち、きずなが育む甲賀の未来・について、

甲賀市の概要

甲賀市は、平成16年10月1日に水口町・土山町・甲賀町・甲南町および信楽町の5町が合併して誕生したまちです。

新市としての一体感の醸成と市域の均衡ある発展、市民の福祉向上を目標にまちづくりを進め、市制施行から10年の歴史を刻んでおります。

滋賀県東南部に位置する本市は、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交流拠点にあり、平成20年に新名神高速道路の亀山JKTから草津田上ICまでの49.7Kmが部分開通しました、市内にはICが3箇所、SA・PAが各1箇所あり、大阪・名古屋からは100キロメートル圏内と便利な場所に位置しております。

面積は、481.62平方キロメートルで県土の12%を占め、地形では、東に鈴鹿三系を望む丘陵地で野洲川・そま川・大戸川沿いに平地が開け、また、森林も多く琵琶湖の水涵養、水質保全にも重要な地域となっている。

古くから近江と伊勢を結ぶ伊勢参宮街道として栄え、近世に入って東海道が整備されると、水口、土山に宿場がおかれ、これらを中心とした街道の産業や文化が栄えました。

昭和40年代以降、工業団地の造成により多くの企業が進出し内陸工業地として発展、また、区画整理や宅地造成により京阪神のベツタウンとして都市化が進行している。

また、日本六古窯のひとつ信楽焼で有名な信楽地域、甲賀者や製薬で知られる甲賀・甲南地域、城下町・宿場町の風情が色濃く残る水口地域、鈴鹿馬子唄などの街道文化が残り茶業の盛んな土山地域などそれぞれまちの特性を持ち、各地域共に神社仏閣の文化財も多くある。

主な企業

トヨタ紡績滋賀㈱、住友電工ウィンテック㈱、㈱日立建機ティエラ、積水化学工業㈱、滋賀水口工場、TOTO㈱滋賀第二工場、㈱ジーテクト滋賀工場、日本発条㈱滋賀工場、天馬㈱滋賀工場、NECライティグ㈱滋賀工場、ナイテック工業㈱甲賀工場、などが有る。

主な交通

JR 草津線(貴生川駅他 4)・近江鉄道本線(貴生川駅他 4)、信楽高原鉄道(貴生川駅 5)、新名神高速道路〔甲賀土山 IC・他〕、国道 1・307・422 号など。

視察の経過

雨の中、ホテルの車送って頂き、甲南庁舎へ、甲賀市教育委員会・事務局の教育部長・安田正治様より歓迎の挨拶があり、次に相沢祐司議員より視察に関わる経緯と震災時の支援についての御礼をのべる。

甲賀市の概要、資料 N0-1 により甲賀市の概要の説明を受けた後、甲賀市教育委員会事務局、学校教育課・課長・中村康春氏より、資料 N0-2・N0-3 についてプロジェクターを使用しながら説明を受けました、合併による再編についてや県下でも低い学力を高めるため、現在実施に向けた計画を伺い、驚きを禁じえませんでした、その計画とは、市内、小学校 22 校と中学校 6 校があるが、それを小中一貫校とし 12 校に再編する計画がひとつ、また、学力向上のため、ケーブルテレビを活用し学校の先生方と生徒も出演、教科毎に今年は 84 本を政策し放映し、家庭での学習意欲と習慣をつける、さらに、地域力を活用したカリキュラムなどが計画され、具現化に向けた取り組みがなされておりました。

考 察

甲賀市は人口減少傾向にあり、その取り組みに、切羽詰った決意と現状を改善しようとする熱意を感じました、当市には考えられない展開での政策であるが、閑上の事などを考えると、小中一貫校は当市としても参考にすべきことであると思う。

また、テレビ放映の試作品を見せて頂いたが、先生や生徒が楽しく取り組んでおり、面白い企画であり、成果が期待される、地域力の活用については当市でも取り組んでいる面があるが、教師の補助としたり、教員免許にこだわらず、予算をおいて活用している事など参考にしたいと感じました。

行政視察報告書・

木津川市

平成27年7月17日

視察場所・京都府木津川市・市役所

視察内容 ・ クリーンセンター建設プロジェクト・について、

木津川市の概要

木津川市は、07年3月に木津町・加茂町・山城町の3町が合併して誕生したまちです。

府の南端に位置し、奈良県に接する、80年代半ば以降、関西文化学術研究都市、の一翼を担う都市としての開発が進み、20以上の研究施設が立地、大阪・京都両市の30Km:圏、一時間以内の距離にあり、ベットタウンとしても人口が増加している。

関西文化学術研究都市のポテンシャルを最大限に活用して企業・研究施設の誘致に傾注、指定文化財や豊かな自然などの観光資源、農業を活かしたまちづくりを推進。

平成12年5月に、農・みのりのまちづくり、をコンセプトに開発した、城仙台(計画人口11,000人)が町開き、14年4月には、城仙台小学校が開校、クリーンセンターの建設に向けた敷地造成工事にも着手するなど、今後も期待される市であり、面積は、50、37平方キロメートルである。

主な企業

(公財)地球環境産業技術研究機構、(独)日本原子力開発機構関西光学研究所、オムロン(株)京阪奈イノベーションセンター、ロート製薬(株)ロートリサーチビレッジ京都、積水ハウス(株)総合住宅研究所、タツタ電線(株)テクニカルセンター、(株)エム・システム技術京都テクノセンター・京都商品センター、(株)ミズホミズホテクニカル・ラボ、磯矢硝子工業(株)などがある。

主な交通

JR 関西西本線・奈良線・片町線(木津駅、上狛駅、棚倉駅、加茂駅、西木津駅)、近鉄京都線(山田川駅、木津川台駅)、京奈和自動車〔木津IC〕、国道24・163号など。

視察の経過

台風の雨の中、電車で木津川市へ駅まで向かえて頂き、木津川市役所へ、議会事務局次長・佐々木渉様より、歓迎の挨拶があり、次に相沢祐司議員より視察に関わる経緯と震災時の支援についての御礼をのべる。

木津川市の概要を、資料N0-1により説明を受けた後、木津川市議会・クリーンセン

ター建設特別委員会・委員長・山本和延・副委員長・長岡一夫氏の概要の説明と、資料 N 0・2により木津川生活環境部・まち美化推進課・クリーンセンター建設推進室・室長・山本昌宏・室長補佐・吉田孝氏より詳細な説明がなされました。

考 察

木津川市の議会議員二名を含め、行政の立場から、議会の立場からと丁寧な説明を受け、このように議会も一体となった対応に感謝とすると共に感心致しました。

現在、クリーンセンター建設用地は過去に設置されていた場所であり、その場所に決定するまでの経緯について伺うと、地域の反対があり難しいと思われたが、市長が足を何度も運ばれ、新しい施設には公害が無い事、監視のために住民と一体となった組織を創りあげるなど、説得に当たった事などを伺った、当市を振り返れば、広域行政で委託を理由に、質疑されても、副管理者なのに解からないはないだろうと、気概の差に腹が立つ。施設は平成 30 年 9 月完成で、当市で使用しているタクマである、無難な完成を心から願う。台風により帰りの飛行機を案じながら心からの対応に感謝し帰路につく。